

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	人事管理事務事業	新規/継続	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0117301000-002		
		予算所管課	総務局職員室職員担当				
		連絡先	(078)918-5006				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課				
	款	総務費	連絡先				
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
	目	人事管理費	根拠法令・要綱等	地方公務員法			
	事業	人事管理事務事業					
施策分野	6 行政経営分野 6-4 組織力・職員力の向上		実施方法	直営 <input type="radio"/>	補助・助成 <input type="radio"/>	その他 <input type="radio"/>	
個別計画	人事制度改革基本計画		委託 <input type="radio"/>	指定管理 <input type="radio"/>			

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 地方公務員法を踏まえた各種人事制度を適宜見直し、地域主権に対応した職員体制の構築を図ることを基本として、総人件費の抑制に努めつつ、重要施策の推進や市民サービスの維持・向上を図れるよう、業務量を精査しながら、適正な職員数の確保、人員配置等に努めるとともに、国公準拠を基本とする給料水準の改定や手当の見直し等、給与のさらなる適正化を図る。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
ラスパイレ指数(国の給料を100とした場合の本市の給与水準)	国公準拠を基本とする給与のさらなる適正化を図る。	令和3年度	-	100

事業内容

【①人事制度の調査、研究及び改善に関すること】
 管理職及び主任ポストチャレンジ試験など、引き続き、人事制度改革基本計画に掲げた人事施策の推進を図る。
 (管理職試験の受験者数-R1:91人、R2:82人 ポストチャレンジ受験者数-R1:28人、R2:28人)

【②職員の定数及び配置に関すること】
 総人件費の抑制及び簡素で効率的な組織体制の構築のため、引き続き、事務の見直し及び再任用や任期付職員の活用等により、適正な職員数の確保、人員配置等に取り組む中で、重要施策の推進と市民サービスの維持・向上のため、必要な人材の確保を図る。
 (総職員数(正規職員) H31年4月:1,900人、R2年4月1,931人、R3年4月1,930人(見込み))

【③職員の試験及び選考に関すること】
 R2年度は、年齢等の受験要件を大幅に緩和するなど、優秀な人材確保に努めたが、その結果を検証しながらさらなる改善を目指す。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、ネットを利用した周知活動やオンライン申込みなど、適宜見直しを図る。
 (応募者 H30:1,321人 R1:1,289人 R2:3,587人(R3年1月時点))

【④職員の勤務条件の調査及び改善に関すること】
 休暇等の勤務条件について、引き続き、国・県をはじめ他都市の動向及び民間の状況等に関する調査・研究を行い、適宜見直しを図る。

【⑤職員の給与等に関すること】
 総人件費の抑制を図るため、引き続き、人事院勧告を踏まえ、国公準拠を基本とする給与のさらなる適正化を図る。
 (総人件費 H27:202億円 H28:200億円 H29:202億円 H30:202億円 R1:206億 R2決算見込:211億円 R3当初予算:217億円)

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
				○			○									

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	再任用	任期付
01決算	17,848	93,150	110,998	0	0	2	110,996	11.50	7人	0.00
02当初予算	14,109	101,250	115,359	0	0	3	115,356	0.00	0人	0.00
03当初予算	14,755	101,250	116,005	0	0	3	116,002	3.00	合計	14.50

令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和3年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	消耗品費等	1,547		需用費	消耗品費等	1,290
	役務費	採用試験広告料等	450		役務費	採用試験広告料等	230
	委託料	採用試験問題採点等	9,276		委託料	採用試験問題採点等	8,440
	使用料及び賃借料	会場使用料等	1,485		使用料及び賃借料	会場使用料等	2,235
	その他	旅費、備品購入費	1,351		旅費	旅費	2,560
	合計(A)		14,109		合計(B)		14,755

予算増減(B)-(A)	646	主な理由	採用試験申込管理システムの導入
--------------------	-----	-------------	-----------------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	職員安全衛生事業	新規/継続	継続事業	<small>事務事業の総点検の整理番号</small>	0117302000-001		
		予算所管課	総務局職員室給与・厚生担当				
		連絡先	(078)918-5007				
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課				
	款	総務費	連絡先				
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
	目	人事管理費	根拠法令・要綱等	労働安全衛生法、労働安全衛生規則、明石市職員安全衛生規則			
	事業	職員安全衛生事業					
施策分野	6 行政経営分野 6-4 組織力・職員力の向上		実施方法	直営 <input type="radio"/>	補助・助成 <input type="radio"/>	その他 <input type="radio"/>	
個別計画			委託 <input type="radio"/>	指定管理 <input type="radio"/>			

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 職場における安全の確保と職員の心身の健康の保持増進を図るとともに、働きやすい職場環境づくりを推進する。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
私療養休暇の発生率	私療養休暇（精神疾患含む）の発生率を直近の全国平均以下にする。発生件数/総職員数	令和3年度	%	2.71

事業内容

- 安全衛生に関する事業
 職場における安全と職員の健康を確保するため、安全衛生委員会を設置し、所要の対策を講じる。
 R2年度実績：委員会12回、安全運転講習会等（四輪/計3回×12名、二輪/計2回×10名）の実施
 R3年度予定：委員会12回、事故惹起運転者講習、ペーパードライバーク講習の実施
- 職員の健康診断に関する事業
 定期健康診断（法定健診）、アスベスト、腰痛・頸肩痛、VDT、胃部健診等を実施し、その結果に基づく産業医による保健指導等を行う。
 R2年度実績：定健対象2,454名、受診2,250名、保健指導の実施
 R3年度予定：定健対象約2,500名、保健指導の実施 ※人数は市長部局のみ
- 職員の健康管理に関する事業
 法令等に基づき、長時間労働者（月80時間超の時間外勤務）に対する産業医の面接指導等を実施するほか、人間ドック費用等の一部負担や市立保育所の保育士等を対象にインフルエンザ予防接種を実施する。
 R2年度実績：月80時間超勤務 延14名、面接指導10名、インフルエンザ予防接種262名接種（2020年12月末日時点）
 R3年度予定：月80時間超勤務者への面接指導等実施予定 ※人数は市長部局のみ
- メンタルヘルスに関する事業
 職員の心の健康の保持増進を図るため、階層別のカウンセリング及びメンタルヘルス研修を実施するほか、ストレスチェックと合わせメンタルヘルス改善意識調査を実施する。
 また、メンタル相談費用の一部負担を実施する。
 R2年度実績：ストレスチェック及びメンタルヘルス改善意識調査 対象3,577名、受診3,353名、階層別カウンセリング92名（2020年12月末日時点）
 R3年度予定：ストレスチェック及びメンタルヘルス改善意識調査 対象約3,600名、階層別カウンセリングの実施

SDGs(17の目標)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
							○									

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	再任用	その他	
01決算	53,268	18,900	72,168	0	0	11,916	60,252	正規	2.40	アルバイト	0.00
02当初予算	59,143	22,680	81,823	0	0	11,410	70,413	再任用	0.00	その他	0.00
03当初予算	59,313	22,680	81,993	0	0	11,691	70,302	任期付	1.20	合計	3.60

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
令和2年度当初予算事業費明細	報酬	6,240	令和3年度当初予算事業費明細	報酬	6,240
	報償費	501		報償費	181
	需用費	274		需用費	240
	委託料	29,773		委託料	30,100
	負担金補助及び交付金	22,000		負担金補助及び交付金	22,350
	その他	355		その他	202
合計(A)		59,143	合計(B)		59,313

予算増減(B)-(A)	170	主な理由	職員増に伴う定期健康診断等受診費用(委託料)等の増
--------------------	-----	-------------	---------------------------

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	OJTシステム推進事業	新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0117303000-001	
		予算所管課	総務局職員室人材開発担当			
		連絡先	(078)918-5818			
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課			
	款	総務費	連絡先			
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 20 年度
	目	研修厚生費	根拠法令・要綱等	地方公務員法		
	事業	OJTシステム推進事業				
施策分野	6 行政経営分野 6-4 組織力・職員力の向上	実施方法	直営	○	補助・助成	その他
個別計画	人事制度改革基本計画		委託		指定管理	

事業の目的・目標
目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 「人材育成型人事制度」の柱と位置付ける人事評価制度（査定ボーナス及び査定昇給制度）とOJT（職場実践トレーニング）を十分に連携、機能させることにより、効果的かつ計画的な職員の能力、意欲の向上を図る。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
査定ボーナス及び査定昇給制度への理解度	同制度において、新たに評価者となった職員へのアンケート結果より、制度の目的・評価方法などの理解度を算出する。	令和3年度	%	100

事業内容

①査定ボーナス及び査定昇給制度（H28年度までは人材育成評価制度）の実施
 OJTと連携した効果的かつ計画的な能力向上を図るため、人材育成評価制度を、平成22年度から管理職を対象に導入し、以降、年次的に対象を拡大し、平成26年度から平成28年度までは、係長級以下の全行政職員を対象に実施してきた。
 平成29年10月より、係長級以下の職員を対象に、人材育成評価制度の目的である職員個々の能力と公務能率の向上に加え、がんばった職員を処遇面で報いる「査定ボーナス及び査定昇給制度」を導入している。
 〈R1〉 所要の改善を図りながら、制度の定着に取り組んだ。
 〈R2〉 コロナの影響により、未実施。
 ・評価者研修 受講者数 R1:48名 R2:中止 R3:-

②エルダー職員研修の実施
 職場で新規採用職員の指導にあたるエルダー職員及び所属長を対象に、計画的な指導育成方法を身につけるため、「エルダー職員研修」を実施している。
 〈R1〉 「エルダー職員研修」及び「フォローアップ研修」についてOJTの推進に繋がる研修となるよう必要な改善を行いながら支援体制の充実を図った。
 〈R2〉 コロナの影響により、集合研修は中止。代替として、研修資料を配付し、自主学習研修を実施。
 ・受講者数 R1:72名（エルダー職員研修34名、フォローアップ研修38名） R2:中止 R3:-

③新規採用職員を対象とした個別面談の実施
 新規採用職員の育成上の課題等を早期発見・早期対処するため、平成26年度より実施している職員室人材開発担当職員と新規採用職員、エルダー職員等との個別面談を行っている。
 ・対象者数 R1:52名 R2:コロナの影響により、代替として、必要に応じた個別面談を実施（6名） R3:-

※上記①～③については、引き続き、令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症に対する重点的な感染対策及び市民の生活支援等を最優先としつつ、感染状況等を十分に踏まえながら、適宜、実施の有無や、実施方法等について判断する。

SDGs (17の目標)																
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)
			○	○			○		○				○		○	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	1/2ハハ	再任用	その他
01決算	578	10,260	10,838	0	0	0	10,838	正規	1.10	1/2ハハ	0.00
02当初予算	971	10,260	11,231	0	0	0	11,231	再任用	0.00	その他	0.00
03当初予算	971	10,260	11,231	0	0	0	11,231	任期付	0.50	合計	1.60

区分(節)	内容	金額		区分(節)	内容	金額
報酬	審査会委員に対する謝礼	91		報酬	審査会委員に対する謝礼	91
委託料	研修実施委託料(講師料等)	880		委託料	研修実施委託料(講師料等)	880
合計(A)		971		合計(B)		971

予算増減 (B)-(A)	0	主な理由	
-------------------------	---	-------------	--

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	能力開発支援事業	新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0117303000-002				
		予算所管課	総務局職員室人材開発担当						
		連絡先	(078)918-5818						
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課						
	款	総務費	連絡先						
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 20 年度			
	目	研修厚生費	根拠法令・要綱等	地方公務員法					
	事業	能力開発支援事業							
施策分野	6 行政経営分野 6-4 組織力・職員力の向上		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
個別計画	人事制度改革基本計画		委託		指定管理				

事業の目的・目標
目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 人事制度改革（人物重視の職員採用や若手職員の積極的な登用等）と連携した研修体系の構築により、発想の転換による施策推進や少数精鋭体制に対応できる職員のさらなる能力開発を図る。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
研修受講者の学習内容に対する理解度	研修受講者へのアンケートや、確認テストなどの結果より、学習内容に対する理解度を算出する。	令和3年度	%	100
ウィズコロナを踏まえた研修方法の導入率	市主催研修のうち、動画、eラーニング、オンラインなどの手法を導入した研修の比率を算出する。	令和3年度	%	70

事業内容

①職員研修の実施
 ・階層別研修（新規採用職員研修、新任主任・係長・管理職研修など）
 ・基礎意識・能力向上にかかる研修（不当要求防止研修、人権意識向上研修など）
 ・課題に応じた能力開発研修（法務能力、答弁書作成力強化研修など）
 （受講者数 R1:30研修・延べ1,109名、R2:8研修・延べ540名（見込み）、R3:15研修・延べ700名（予定））
 ※令和2年度は、コロナの影響により、原則、集合研修は中止。代替として、階層別研修については、研修資料・DVDによる自主学習研修を実施。
 また、一部の研修において、試行的にオンラインで実施。
 ※今後は、ウィズコロナを踏まえ、さらに、動画研修、eラーニングなど、適宜、導入を検討しながら実施する。

②他機関への派遣研修
 ・専門的な実務能力や高度な政策形成能力の向上を図るため、他の研修機関が実施する派遣研修を活用している。
 [派遣機関]自治大学校、播磨自治研修協議会、兵庫県自治研修所、NOMA行政管理講座、国土交通大学校、市町村・国際文化アカデミーなど
 （受講者数 R1:114コース・延べ227名、R2:コロナの影響により、派遣の中止、R3:80コース・延べ150名（予定））
 ・高度な政策立案、業務遂行能力の向上を図るため、国（文部科学省、国土交通省、厚生労働省）への職員派遣を継続する。
 ※上記①及び②については、引き続き、令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症に対する重点的な感染対策及び市民の生活支援等を最優先としつつ、感染状況等を十分に踏まえながら、適宜、実施又は派遣の有無や、実施方法等について判断する。

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
			○	○			○		○				○		○	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	2.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
01決算	16,915	17,550	34,465	0	0	123	34,342	正規	2.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
02当初予算	20,912	17,550	38,462	0	0	566	37,896	再任用	0.00	その他	0.00
03当初予算	18,578	17,550	36,128	0	0	258	35,870	任期付	0.50	合計	2.50

令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和3年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	外部研修講師謝礼	145		報償費	外部研修講師謝礼	110
旅費	研修生通所旅費	10,272	旅費	研修生通所旅費	9,900		
役務費	研修に係る損害保険料、点字筆耕翻訳料、手話検定受検料	637	役務費	点字筆耕翻訳料、手話検定受検料	806		
委託料	研修実施委託料(講師料等)	4,589	委託料	研修実施委託料(講師料等)	2,810		
負担金補助及び交付金	派遣研修負担金	3,730	負担金補助及び交付金	派遣研修負担金	2,632		
その他		1,539	その他		2,320		
合計(A)			20,912	合計(B)			18,578

予算増減(B)-(A)	-2,334	主な理由	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた研修方法等の見直しによる旅費、委託料及び負担金減のため
-------------	--------	------	---

令和3年度 予算事業説明シート

事務事業名	意識改革促進事業	新規/継続	継続事業	事務事業の総点検の整理番号	0117303000-003				
		予算所管課	総務局職員室人材開発担当						
		連絡先	(078)918-5818						
関連予算科目	会計	一般会計	事業所管課						
	款	総務費	連絡先						
	項	総務管理費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 20 年度			
	目	研修厚生費	根拠法令・要綱等	地方公務員法					
	事業	意識改革促進事業							
施策分野	6 行政経営分野 6-4 組織力・職員力の向上		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
個別計画	人事制度改革基本計画			委託		指定管理			

事業の目的・目標
目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 「いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで」取り組んでいる本市において、「がんばる職員が認められ、より一層がんばる」ための職員改革の取り組みにより、市政運営を担う職員のさらなる意識改革や質的改革を図る。

成果指標

指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
意識改革への取り組み 延べ参加者数	意識改革への取り組み 延べ参加者数	令和3年度	人	100

事業内容

①職員改革セミナーの実施
 市民基点で、自ら考え、行動し、的確に地域の課題に対応できるよう、職員の意識改革を目的としたセミナーを実施している。
 R1: 第8弾「子どもの声は未来の声～子どもを真ん中に地域のつながりを創る～」(参加者数:62名)
 R2: コロナの影響により、中止
 R3: 未定

②職員功績表彰の実施
 がんばる職員に幅広い観点から積極的なプラス評価を行うことで、職員が意欲を持って仕事に取り組めるよう「職員功績表彰制度」を実施する。
 [表彰対象者]
 R1: 8 組(個人3名、組織・団体3組)
 R2: コロナの影響により、中止
 R3: -

③資格・免許取得支援の実施
 職員の自発的な学習を推進し、職務能力の向上を図るため、業務で活用できる資格等の取得を目指す職員に対して、検定料等の助成を実施する。

※上記①及び②については、引き続き、令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症に対する重点的な感染対策及び市民の生活支援等を最優先としつつ、感染状況等を十分に踏まえながら、適宜、実施の有無や、実施方法等について判断する。

SDGs(17の目標)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
			○	○			○		○				○		○	

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	ｱﾊﾞｲﾄ	その他	
01決算	84	7,155	7,239	0	0	0	7,239	正規	0.90	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
02当初予算	550	8,640	9,190	0	0	0	9,190	再任用	0.00	その他	0.00
03当初予算	1,000	8,640	9,640	0	0	0	9,640	任期付	0.50	合計	1.40

令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和3年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
		報償費	外部研修講師謝礼		300		報償費
	需用費	消耗品費	150		需用費	消耗品費	150
	使用料及び賃借料	研修会場借り上げ料	100		使用料及び賃借料	研修会場借り上げ料	50
					負担金補助及び交付金	資格・免許取得に係る助成	500
	合計(A)		550		合計(B)		1,000

予算増減 (B)-(A)	450	主な理由	資格・免許取得に係る助成金増のため
-----------------	-----	------	-------------------